

## 京都精華大学活動報告 08

日時：平成 28 年度 6 月 6 日(月) 10:00～15:30

天気：晴

気温：最高 25.0℃／最低 17.0℃

参加者：10 名

内容：噴水池の環境整備（藻の除去、杭打ち、生き物観察）、グリーンカーテン用のヘチマとゴーヤの苗の定植、土づくり

### ・噴水池のアオミドロの除去

今年は繁茂しており、なかなか取れずにいた岩に張り付いたアオミドロを剥がすのに一番効果があったのはワイヤーブラシだった。



・回収した藻は約 27 kg。

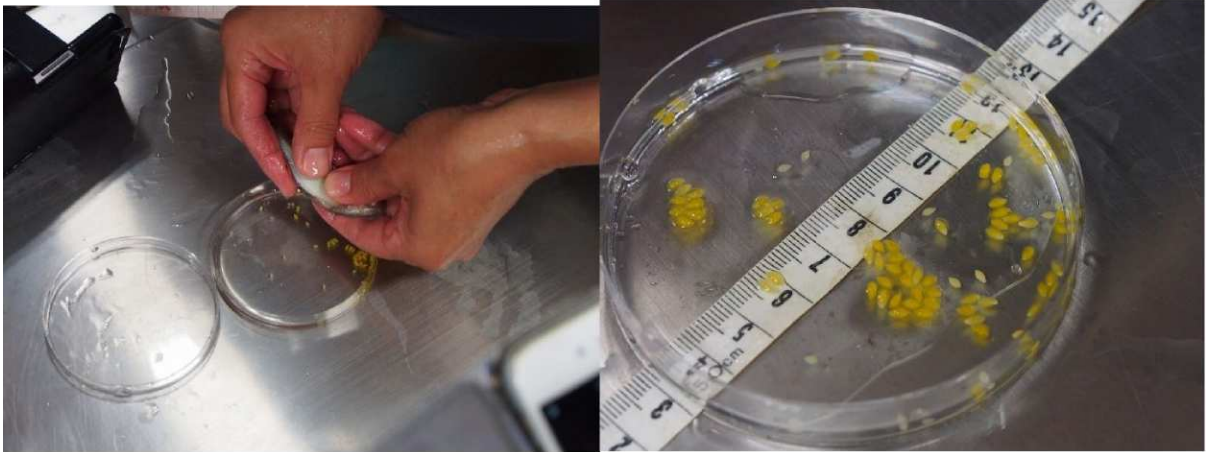
・回収作業中に白川で採捕したと思われる稚魚を確認した。その他、ヤゴ、アメリカザリガニ、スジエビの姿を多く観察。



・本園職員が実施したヤリタナゴの人工授精を観察。産卵管の伸びたメスから採卵し、1尾から80数個。もう1尾は1卵のみ。



・採卵したシャーレにオスの精子を絞り出し、受精させる。



・なお、使用した水は蒸留水に酸素を飽和させたものを使用。受精後、水を入れ替え、卵の変化を観察。



・この後、二枚貝の中にある状態と同様、暗くして発生を待つ。

・噴水池の杭打ち。もともと打ち込まれていた杭の隙間を埋めるように打ち込む。ただし、隙間の空いているところには下に石があり、打ち込めない場所もあった。



・グリーンカーテン用土づくり（山砂，バーク堆肥，シマウマの肥料）。出来た土を杉板枠で作成したプランター3か所に分けて入れる。



・ヘチマは6本 x 2列（キバタン舎南・西側），ゴーヤは5本 x 2列（オオバタン舎西側）で定植。



- ・オオバタン舎南側・寝室屋上のプランター2つに9本のへちまを定植。



- ・それぞれ定植時にグリーンソイルを混ぜるとともに、定植後にしっかりと水を与えた。



- ・余った土は、疏水縁の桜の根元に撒いておいた。



・現時点でのヘチマとゴーヤの発芽率は、ヘチマ76/97で78.4%, ゴーヤが25/29で86.2%でした。発芽しなかったゴーヤの種子を一度掘り出してみたところ、水分を含みすぎている感じがであったが。再度埋め戻して、様子を見てみることにした。



・ゾウ舎バックヤードで土作り。しばらくなじませてから、おとぎの国屋上緑化エリアの整備で使用する予定にしている。



生き物・学び・研究センター 和田